

編集後記

6年ぶりに、ジェイテクトエンジニアリングジャーナルの編集にたずさわることになりました。当時、テーマの対象範囲は転がり軸受とステアリングが主でしたが、今では駆動製品、工作機械が加わり、その範囲も大きく広がってきています。ジェイテクトエンジニアリングジャーナルをご愛読いただいているお客様のご期待に応えられる編集を目指して、これまでの経験を活かして取り組んでまいります。

急激な景気悪化の底打ちがささやかれる中、新しい「成長」への処方箋がかつてないほど切実に求められています。現状の閉塞感を打破する重要なカギの1つは、「環境改善に寄与できる新製品・新技術」です。今回は環境の取り組みについての弊社の対応を多く紹介させていただきましたが、今後は具体的なテーマを通して先進技術を紹介したいと考えております。(柴田)

入社して23年、生産技術に関わる仕事に携わってきました。この間、世の中の変化や会社の成長とともに、その内容も大きく変わってきたように感じます。6年前、“PPI (Products & Process Innovation)”という言葉が社内に生まれたこともその1つです。これまでの常識にとらわれず、

工法と製品を変革するという活動ですが、そのころは、経営環境の激変に対抗し、新商品の量産化に知恵を絞る技術者の基本姿勢となっていました。日々努力し成長し続ける生産技術者のモノづくりへのこだわりと技術力が本誌を通じて読者の皆様に伝われば幸いです。(藤田)

昨年から続く経済状況の激変と呼応するかのよう、我々を取り巻く様々な環境も、国内外、分野を問わず、今まででは考えられない大きな変化を見せています。環境が大きく変化した時生き残るのは、より強いものではなく、環境の変化に柔軟に対応し、すばやく変化できるものだと思います。そのことは、技術の分野でも意識して、社会に貢献していかなければなりません。

一部では、景気も底を打ったとの見方も囁かれ始めています。しかし、私が業務で携わる工作機械業界は、特に景気の影響を受けやすい業界といわれ、まだまだ厳しい状況は続きそうです。だからこそ、この変化の中で柔軟に対応し、未来を見据えた当社の最新技術・製品を、ジェイテクトエンジニアリングジャーナルを通して紹介していきたいと思います。(長野)

JTEKT ENGINEERING JOURNAL

No.1007 (2009)

発行 2009年10月

編集委員会

委員長 林田一徳

委員 榎俊光 柴田正道 林寛

藤田大介 Kevin QUIST 齊藤利幸

岡邦洋 高畑良一 小林久修

椎名晶彦 森勝久 尼子弘樹

小林正典 岩本清兼 岩下弘幸

桜井清隆 小谷一之 長野英樹

坪井泰憲

事務局 中野淳 奥村朋子 小田幸夫

石橋仁也 林文代 島谷美穂子

発行人 伊藤寛

編集人 編集委員会

発行所 株式会社ジェイテクト 研究開発センター

〒634-8555 奈良県橿原市十市町333番地

Tel 0744 (29) 7040

Fax 0744 (29) 7049

印刷・製本 デジタル総合印刷株式会社

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町7-5-30

© COPYRIGHT 2009 BY JTEKT CORPORATION

お願い：JTEKT ENGINEERING JOURNALの送付先の変更あるいは取消に関するご連絡は下記へお願いします。

営業本部 営業統括部 Tel 06(6245)6087 Fax 06(6244)9007